

## 平成23年度決算、事業報告などを原案通り可決、承認

府国保連合会通常総会



本会の通常総会は、7月31日（火）国保連合会に37保険者の代表が出席して開かれ、平成23年度事業報告、一般会計、各特別会計歳入歳出決算ほか諸議案が原案通り承認された。

総会では、橋本昭男理事長（城陽市長）が挨拶の中で「平成23年度の事業は、おおむね所期の目的を達成することができた。」として、府や保険者の協力に感謝した。また、支払基金との統合が引き続き検討されている中、新規事業として「保険者レセプト二次点検」を受託し、保険者事務の軽減と医療費適正化に積極的に取り組んできたことを報告した。

来賓の藪府健康福祉部副部長の挨拶のあと議事に入り、議長に寺尾豊爾京丹波町長を選任した。議事録署名人には、伊根町の小西俊朗副町長と京都市食品衛生国保組合の伊藤義浩理事長が指名された。

議案は、平成23年度報告承認事項4件、平成24年度議決事項11件、報告承認事項2件、報告事項2件で、いずれも原案通り承認された。最後に宮北副理事長（京都料理飲食業国民健康保険組合理事長）の閉会挨拶で総会を終えた。

